

経営体の概要

- 所在地：栃木県芳賀郡益子町
- 経営体名：個人経営
- 栽培作物・作付面積：いちご・0.43ha
- 従業員数：5名（令和5（2023）年7月現在）

導入技術

- 自動・局所型炭酸ガス施用システム（高圧ガス工業株式会社製）
 - ・ハウス内の環境をパソコンで把握できる「環境測定」に加え、あらかじめ設定した炭酸ガス濃度を下回ると、畝上に設置したチューブから自動的に炭酸ガスを施用できるシステム。
 - ・システムはリース、ガス施用チューブは買い取りとなる。その他にパソコンを用意する必要がある。



ガス施用チューブ

●炭酸ガスボンベ

●局所施用の様子

●環境制御装置

導入経緯

- これまでは単収と品質の向上を目的にLPガス燃焼型の炭酸ガスをハウス内に充満するよう施用していたが、**換気により容易に炭酸ガスが外部へ流出してしまい、ハウス内温度が上昇する日中は積極的に施用できなかった。**
- そこで、平成28（2016）年産から、**換気の影響を受けにくい株元に直接炭酸ガスを局所施用でき、さらにその濃度を400ppmに保つことができる本システム**を導入し、**一層の単収と品質の向上を図ることとした。**

取組の特徴・効果

- 単収が1割強向上した。
 - 平均1果重が増えたことから、上位等級の発生率が高まり、平均単価（円/kg）も向上した。
 - 大粒果となった結果、1パック当たりの調製作業が短くなり、作業効率が向上した（尚、総パック数も増えたので、調製に掛かる総作業時間は変化なし）。
 - 果実の糖度が上がり、食味が向上した。
- ⇒ 導入の成果として**販売額が増加し、導入及び運用経費を差し引いても増益**となった。